

## 【資料2】

# 活動年譜

- 92年 農水省ガイドライン施行を背景として、日本リサイクル運動市民の会(以下日リ)にて独自の生産基準の運用形態の模索を開始
- 93年 3月 日リ内に環境保全型生産基準委員会(以下基準委)発足
- 94年 1月 「環境保全型農業生産基準(案)」検討会開催(農業生産者13団体、基準委、らでいっしゅぼーや)
- 2月 らでいっしゅぼーや環境保全型生産基準要項・農業編発行(日リ・らでいっしゅぼーや合同)
- 95年 2月 らでいっしゅぼーや環境保全型生産基準要項・漁業編発行(同上)基準要項農業編、漁業編改訂
- 96年 2月 94年、95年の基準要項に水田稲作編、畜産編、加工食品編を加稿し、日リにてRadix環境保全型生産基準要項(以下Radix基準)発行
- 2月 東京一ツ橋会館にてらでいっしゅぼーや全国生産者集会(らでいっしゅぼーやルネッサンス'96)開催、同日発効となったRadix基準を守り支え育てる主旨により生産者参加による「Radixの会」設立を決定、初代会長として徳江倫明氏(日リ会長)
- 5月 Radixの会発足、個人・法人併せ約300団体が加入。基準委アドバイザー委員を拡充
- 11月 Radix地域生産者集会連続開催(東北・関東・甲信越)(北海道)(東海・関西・中四国)
- 12月 Radix地域生産者集会連続開催(九州)
- 97年 2月 東京エコロジーセンターにてイギリス土壌協会ジャン・ティーン女史講演会開催
- 2月 東京ビッグサイトにてRadixの会全国集会(オーガニック新世紀へのチャレンジ)開催
- 6月 IFOAMアジア代表理事A・ダニエル氏来日講演
- 8月 ~12月、全国12カ所で生産者自主基準作成の呼びかけを開始
- 9月 ヨーロッパ有機農業・認証団体視察
- 10月 らでいっしゅぼーや、IFOAM(国際有機農業運動連盟)加盟
- 12月 第3回IFOAMアジア会議参加
- 12月 全国自主基準合同検討会議連続開催
- 98年 6月 東京・日本教育会館にてRadixの会全国集会(オーガニックビッグバン)開催
- 6月 Radix生産者自主基準集第1集発行(全17団体)
- 7月 ~10月全国生産者ブロック会議(農産)開催(7月:九州・関西、8月:関東・東北、9月北信越・北海道、10月:中四国・中部)
- 99年 4月 Radix生産者自主基準集第2集発行(全55団体)
- 6月 らでいっしゅぼーや有機農産物等栽培基準(案)・使用禁止及び制限農薬リスト(案)発行
- 6月 日リ閉会に伴い、基準委活動を休止
- 6月 東京ホテル海洋にてRadixの会・総会開催
- 7月 ~00年2月、作物別技術交流集を全国各地域にて展開。全国会員生産者と自主基準作成と禁止農薬等についての認識を共有化
- 8月 Radixの会第1回正副会長会議開催、第2代会長として信末清氏(栃木太陽の会・栃木県)選任、事務局を東京都中央区八重洲に設置
- 11月 事務局を東京都新宿区袋町に移転
- 12月 台風18号による九州地区会員被害に対し、44会員及び会本体より復興義援金を拠出
- 第2回正副会長会議開催、会の規約整備を検討、Non-GMO飼料による養豚試験、大豆等のGMO検査実施資金拠出等を実施
- 00年 3月 Radix生産者自主基準集第3集(稲作編)発行(全24団体)
- 3月 2000年作物別技術交流集スタート(年11回開催)
- 3月 より高いレベルの土作りをテーマとした「小祝塾」スタート(年6回開催)
- 4月 第3回正副会長会議開催、専門部会設立を承認
- 5月 専門部会として農産部会を開催、アドバイザー委員の招聘を決定
- 8月 第4回役員会開催
- 01年 1月 第2の専門部会として畜産部会発足。各畜種別分科会スタート
- 2月 第6回役員会開催。以降年4回定期開催
- 農産部会 第1回小祝塾東日本編開催(栃木)年間5回開催(愛知・群馬)のべ動員数440名。
- 4月 畜産部会 第1回全国集会(東京)共催
- つくる人たべる人とどける人の集いin WEST(WESTセンター)協力
- 農産部会 坂東氏堆肥試験(富良野)(~11月まで6回)
- 5月 食品部会 第1回衛生管理技術講習会(神奈川)開催
- 7月 RadixNewsLetter創刊号発行
- 農産部会 WESTブロック集会開催(兵庫)
- 食品部会 第1回養殖研究会開催(東京 虎ノ門)
- 8月 畜産部会 第2回全国集会自主基準集会開催(東京)。各生産者の自主基準改訂・作成作業を開始。
- 10月 第10回役員会(臨時)開催。信末会長辞任、会長代理として斉藤公雄氏(有機栽培あゆみの会代表:茨城県)
- 12月 農産部会 北海道土作り勉強会開催(富良野)
- 農産部会 農産部会 地域ブロック集を各地で連続開催(九州、中部、関東、東北)
- 02年 1月 農産部会 各地域ブロック代表者による委員会発足、会議を連続開催(大阪、名古屋、宮城、札幌、埼玉)
- 畜産部会 Radix生産者自主基準集第4集畜産編発行
- 2月 農産部会の活動単位としての地域ブロック制(北海道、東北、関東、中部、WEST、九州)発足。
- 第1回Radixの会総会「Dreams Come True」開催(東京大手町)会長・五月女清以智氏(はるこま屋:栃木県)。生産者役員15名、特別会員幹事役員5名。第3の専門部会として交流部会、食品部会発足
- 3月 畜産部会 各地域にて畜種別分科会連続開催(5畜種~6月)
- 農産部会 各地域でブロック委員会連続開催(6ブロック~5月)。以降定期的に開催
- 4月 農産部会 北海道土作り勉強会開催(岩見沢)
- 農産部会 小祝塾in四国開催(徳島)
- 5月 食品部会 各地域にてお魚会議連続開催(札幌・東京・大阪~7月)
- 6月 農産部会 各地域にて自主基準会議連続開催(6ブロック~7月)
- 8月 食品部会 カテゴリー別会議連続開催(お惣菜・お菓子・お漬物・和日記(東京))
- 9月 交流部会 らでいっしゅ村 えりも自然体験ツアー実施(北海道)
- 食品部会 製造管理技術講習会連続開催(大阪・福岡)
- 10月 畜産部会 欧州オーガニック畜産視察旅行
- 農産部会 小祝塾in四国(淡路島)
- 交流部会 視察旅行 イタリア・スローフードの旅実施
- 11月 台風被害調査(千葉・茨城)
- 食品部会 水産原料ネットワーク会議(東京)
- 農産部会 北海道土作り勉強会(北海道)
- 12月 農産部会 在来種予備調査を開始
- 03年 1月 有機流通セミナー『種時く人:在来種を自家採種するネットワーク』協賛(東京)
- 2月 かあちゃん集会連続開催(北海道・宮城)
- 3月 Radicleの会トラックキャンペーン協賛(首都圏、神奈川、中部、大阪)
- 農産部会 在来種全国調査をスタート。全国の在来種農家、種苗店、団体とのネットワーク化を開始
- 農産部会 小祝政明氏(ジャパンバイオファーム)とアドバイザー契約締結。各地にて産地主権型勉強会「ミニ小祝塾」を連続開催。年間50回生産者のべ900名を動員。
- 4月 食品部会 製造管理技術講習会連続開催(埼玉・東京・札幌~10月)
- 農産部会 関東・九州ブロック集会(埼玉・熊本)
- 6月 センター移転に伴い事務局を板橋区新河岸に移転
- 食品部会 お魚会議(東京)
- 農産部会 野口勲さん「タネの話」講演会(福島)
- 畜産部会 畜種別分科会連続開催(5畜種~9月)
- 交流部会 らでいっしゅ村 出雲ツアー実施(島根)
- 9月 交流部会 らでいっしゅ村 第2回えりもツアー実施(北海道)
- 畜産部会 オーガニック飼料海外現地視察(フィリピン)
- 食品部会 水産原料ネットワーク会議開催(東京)
- 11月 農産部会 地域ブロック集会連続開催(熊本・埼玉・北海道)
- 04年 2月 第2回Radixの会総会「Let's Dance!」開催(東京錦糸町)。
- 会長・蓮華雅吾氏(紀の芽の会・和歌山県)。生産者役員10名、特別会員幹事役員3名。

